

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県笛吹川フルーツ公園	所管課	県土整備部 都市計画課
所在地	山梨市江曾原1488	設置年月日 (改築年月日等)	平成7年10月7日
指定管理者	山梨市フルーツパーク株式会社		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	(1)都市公園としての①～④の機能を発揮すること ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮していくこと ③良好な緑地景観、環境を提供すること ④果樹にふれあう場を提供すること (2)主催事業の実施を通じて、果樹に関すること等を学ぶ機会を提供すること (3)果樹の展示を通じて、果樹にふれあい、果樹を学ぶ場を、提供すること		
主な施設内容 (定員等)	○公園面積 19.5ha ○施設の内容 ・フルーツミュージアム ①くだもの館(延床面積3,492㎡、骨造+RC地上1階地下1階) ②わんぱくドーム(延床面積1,141㎡、鉄骨造+RC2階建) ③くだもの工房(延床面積1,825㎡、鉄骨造+RC地上3階地下1階) ・管理ヤード(管理棟193㎡、車庫) ・作業棟149㎡ RC造地上1階 管理温室524㎡ ガラスハウス ・ステージ広場 ・入り口広場 ・遊具広場 ・水利用施設(噴水施設等) ・駐車場(第1～2)		
主な業務内容	(1)公園施設(緑地含む)及び設置器具等の維持保全に関する業務 (2)有料施設の利用承認に関する業務 (3)生活環境の緑化、くだもの振興業務 (4)県が実施するイベント等への協力		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	369,997	453,695	462,808	
	(内事業参加者数)	(66,300)	(69,200)	(69,887)	
	(内有料施設利用者数)	(1,249)	(1,632)	(1,876)	
	利用者数合計	369,997	453,695	462,808	
	目標値	328,000	370,000	410,000	470,000
	目標値設定の考え方及びその理由	前年度実績を上回る数値とする	前年度実績を上回る数値とする	平成26年度実績を上回る数値とする	前年度実績を上回る数値とする
対26年度比		122.6%	125.1%		
利用率	1,014人/日	1,243人/日	1,268人/日		

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (計画値)
収入	施設利用料	240,220	289,000	102,580	150,000
	指定管理者委託料	241,448,000	221,959,000	221,959,000	223,020,000
	その他	4,443,878	3,283,000	4,163,248	4,000,000
	収入合計(A)	246,132,098	225,531,000	226,224,828	227,170,000
支出	人件費	71,191,720	76,363,000	77,557,105	78,306,000
	県への納付金				
	管理運営費	169,774,204	149,168,000	147,829,929	148,864,000
	うち外部委託費(B)	99,717,791	81,064,000	79,859,353	78,352,000
	支出合計(C)	240,965,924	225,531,000	225,387,034	227,170,000
収支差額(A-C)		5,166,174		837,794	
外部委託比率(B÷C)		41.4%	35.9%	35.4%	34.5%
利用者一人当たりの経費		532.2	541.4	479.6	474.5

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成28年4月～平成29年3月 実施方法:公園利用者へのアンケート 回答数:1277人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
花や木々について	62.0%	35.3%	2.4%	0.3%
トイレや休憩所について	50.9%	44.9%	4.0%	0.2%
園路や広場について	56.6%	39.2%	3.8%	0.4%
園内の情報や案内板につ	53.7%	43.7%	2.5%	0.1%
園内の安全や防犯につい	50.2%	46.9%	2.7%	0.2%
公園スタッフの対応につ	63.1%	36.4%	0.4%	0.1%
施設全般の満足度	58.7%	40.0%	1.1%	0.2%

利用者の意見	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋式トイレを増やして欲しい。 ・遊具やベンチを増やして欲しい。 ・レストランや売店をもう少し充実させて欲しい。 ・景色や園内、花壇がとてもきれい。 ・無料で遊べたり、駐車場を24時間利用できるのはありがたい。 ・清潔な授乳室があって良かった。 <p>【イベント・サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬のシーズンの楽しみがあるといい。 ・くだもの狩りができたらいい。 ・イベントや料理教室の回数を増やして欲しい。 ・緑の相談所が親切丁寧でわかりやすかった。
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋式トイレについての要望は毎年多く、引き続き協議を重ね改善できるようにする。 ・遊具1基、シェルター4基が増設されたが、依然要望は多いため、可能な範囲で計画的にベンチを増設していく。 ・繁忙期は飲食施設が不足するため、要望が増加する。繁忙期に限り臨時の飲食施設を設置し、対応していく。 <p>【イベント・サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬季にきれいに鑑賞できる夜景や正月向けのイベントを企画し実施する予定。 ・くだもの狩りの要望も毎年多くいただいております、フルーツフェスティバルや料理教室を利用し、収穫体験を実施している。 ・利用者参加型の教室などを新規に企画し、実施していく。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	適切に設備保守、施設維持、緑地及び果樹管理、清掃、安全管理を遂行することができた。特に果樹管理においては、観賞目的との両立を図りながら、良質な果実を実らせ、イベントなどにおいて利用者から好評を得ることができた。また、施設巡回点検において発見した不具合や危険箇所には迅速に対応し、安全かつ快適な公園環境を維持することができた。	業務計画書どおり適切な維持管理が行われた。 巡回点検を行うなかで、不具合等の早期に発見し、迅速な施設修繕実施されたことにより、安全な利用に努めた。
運營業務	公共の公園として平等利用の確保に努め、条例に基づいた利用受付を実施した。また、職員サービスレベルの向上を図り、利用者満足度を上昇させることができた。 果樹振興、緑化普及事業では、積極的な広報や魅力あるイベントを企画し、多くの来場者にお越しいただいた。	公園の特色を生かし、旬のフルーツをテーマにした各種教室やイベントは好評を得ており、公園利用者数の増加につながっている。
利用状況	HPやSNS、マスコミを効果的に活用した広報を実施するとともに、フリーペーパーや旅行誌等でも施設紹介を行い、年間来園者の増加に繋げることができた。 また、関東エリアの旅行会社への訪問営業を実施し、来園者が落ち込む冬季の魅力などを伝え、更なる増加への対策を行った。	各種メディア等を活用し積極的な広報活動により、公園の魅力やイベント等の情報を発信することにより、利用者の増加につながった。
収支状況	くだもの館のスポットライトをLED照明にした結果、光熱水費が年間約300万円削減することができ、備品購入や修繕をより効率的に実施することができた。 くだもの広場の工事による閉館の影響も考えられるが、有料施設利用料金収入が大幅に減少してしまった。その為、クッキング教室は不具合の見られた調理器具の入れ替えを実施し、施設PRを強化していく。	照明のLED化により光熱水費を節減し、備品購入費や修繕費に充てることにより利用者の利便性や安全性の向上に努めた。 有料施設の有効活用策を検討し利用料金収入が増加するよう努めること。
自主事業	来園者の皆さまの利便性向上のため、飲食の提供、物産品の販売、ロードトレインの運行を適切に実施した。 ドッグランを11月27日に開設し、多くの愛犬家の皆さまから好評の声をいただいた。 また、新規にヒルクライムイベントを誘致し、地域の観光振興と活性化に貢献することができた。	これまで実施してきた自主事業に加えドッグランの開設や新規イベントを開催することで、利用者から好評を得ている。 今後も利用者の意見を参考に自主事業に取り組むこと。
利用者満足度	施設全般の満足度で、98.7%の方から、「満足」「どちらかといえば満足」の評価をいただくことができた。 立地的に坂が多いため、休憩施設の数や駐車場からの距離に不満を感じる方が多いが、可能な範囲で対応を心がけ、満足度の更なる向上に努めたい。	高い満足度を得ている。今後も高い満足度を得るために、利用者の意見を参考に運営を行うこと。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>運営目標の指標</p> <p>①来園者数 目標値 410,000人 → 実績値 462,808人</p> <p>②来園者数のうち有料施設利用者数 目標値 2,000人 → 実績値 1,876人</p> <p>公園来園者数は、効果的な広報の実施や県内外への観光宣伝、果樹振興・緑化促進など魅力あるイベントの実施により目標値を大きく上回ることができた。有料公園施設利用者数は、昨年実績(1,632人)を上回ることができたが、利用者数及び利用料金収入は目標値を下回ってしまった。</p> <p>施設維持及び安全管理、緑地植栽及び果樹管理については、日常巡回の徹底、適切な管理の実施を行うことで、快適な公園環境、良質な緑地景観を維持することができた。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>積極的な広報活動を行うことで公園の魅力を発信し、フルーツを活用したイベント等が利用者から好評を得ており、利用者の増加につながっている。</p> <p>施設の老朽化が進んでいるため、県と連絡を密にとり、利用者の利便性と安全性を高めるよう、工夫して維持管理運営を行うこと。</p> <p>清掃活動やイベントスタッフ等において、ボランティアを積極的に活用できるよう検討すること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>県内外を問わず積極的な広報活動を展開するとともに、SNSでの情報発信も活用した結果、多くの来園者にお越しいただくことができた。また、フルーツフェスティバルや料理教室などフルーツを活用したイベントでは、内容に工夫をし、新たに「流しさくらんぼ」を実施したり、来場者参加型のアトラクションを増やし、いずれのイベントも好評を得ることができた。</p> <p>日々の施設点検や定期点検を確実に実施することができ、不具合箇所の早期発見や迅速な修繕対応をとることができた。老朽化が進む施設においては、点検結果などを基に県に逐次報告をし、施設長寿命化を図るための協議を進めることができた。</p> <p>ボランティアの活用は満足いく結果を得られなかった。ボランティアや利用者などとの協働体制の構築は、都市公園において重要な課題であるので、ボランティア規程などの見直しを図り、より有効的に活用できるよう検討していく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在

